

眼 科 学

教 授	窪 田 靖 夫
助 授	中 村 泰 久
講 師	狩 野 俊 哉
助 手	開 繁 義 郎
助 手	石 田 俊 郎
助 手	田 中 良 則
助 手	山 下 泉 子
助 手	大 角 智 寿 子
助 手	山 本 文 昭
助 手	田 畑 晃 晃
助 手	尾 崎 真 由 美
助 手	桶 本 忠 司
助 手	山 田 成 明
助 手	鍛 冶 兆 宏
助 手	白 井 千 威 子
文 部 技 官	水 見 由 美 子

◆ 著 書

- 1) 窪田靖夫：全身病と眼。「眼科診療図譜 4 巻」太根節直他編，190—201，金原出版，1986。
- 2) 中村泰久：放射線療法。「眼科治療指針」丸尾敏夫他編，88—89，医歯薬出版株式会社，1986。

◆ 原 著

- 1) 窪田靖夫，窪田叔子：北陸地方における失明原因に関する調査成績。眼科臨床医報 80：2525—2527，1986。
- 2) 中村泰久：眼窩腫瘍の診断と治療に関する最近の動向。あたらしい眼科 3：1099—1103，1986。
- 3) 中村泰久，尾崎真由美，桶本忠司，山下 泉：眼窩内壁骨折の手術。眼科臨床医報 80：2107—2109，1986。
- 4) Nakamura Y.：Osteoplastic orbitotomy for orbital tumor surgery. Orbit. 5：235—237，1986。
- 5) 開 繁義，石田俊郎，山田祐司，中村泰久：薬物点眼による涙液グルタチオン濃度の変化。あたらしい眼科 3：383—386，1986。
- 6) 石田俊郎，山田祐司，中村泰久：先天性乳頭上硝子体嚢腫の 1 例。眼科 28：81—84，1986。
- 7) 田中良則：緑内障患者の臨床脳波学的研究。日本眼科紀要，37：125—134，1986。
- 8) 窪田叔子，山下 泉，新田正昭，窪田靖夫：著明な前房出血を伴った帯状ヘルペス性ぶどう膜炎の 1 例。眼科 28：1399—1402，1986。
- 9) 山本文昭，窪田靖夫：衝動性眼球運動のコンピュータ解析—装置および方法—。あたらしい眼

科 3：726—730，1986。

- 10) 山本文昭，窪田靖夫：衝動性眼球運動誘導視標に対する誘発脳波—飲酒による影響—。日本眼科学会誌 90：364—372，1986。
- 11) 山本文昭：小脳片葉から前庭核 group y を経て動眼神経核に至る神経経路の電気生理学的研究。日本眼科学会誌，90：671—680，1986。
- 12) 山本文昭，窪田靖夫：衝動性眼球運動誘導視標に対する誘発脳波—視標刺激エネルギーの影響—。日本眼科学会誌 90：1574—1580，1986。
- 13) Yamamoto H.：The neuronal pathway from the flocculus to the oculomotor nucleus：an electrophysiological study of group y nucleus in cats. Brain Research. 371：350—354，1986。
- 14) 尾崎真由美，中村泰久：眼窩壁骨折の臨床像。日本眼科紀要 37：456—462，1986。
- 15) 尾崎真由美，中村泰久：眼窩壁骨折の手術適応基準について。臨床眼科 40：347—350，1986。
- 16) 名古屋良輔，窪田靖夫，林 京子，落合 宏，庭山清八郎：ハイブリダイゼーションによる HSV—1 DNA の同定。あたらしい眼科 3：1635—1637，1986。

◆ 総 説

- 1) 窪田靖夫：大学院博士課程と眼科専門医教育。日本眼科紀要 37：539—542，1986。

◆ 学会報告

- 1) 窪田靖夫：網膜色素変性症，外来における診療の要点。第 4 回島根医大眼科学教室同門会—特別講演，1986，4，出雲。
- 2) 窪田靖夫：網膜色素変性症と関連疾患。第 83 回中国四国合同眼科学会—特別講演，1986，9，高知。
- 3) 窪田靖夫：当科における手術統計，とくに眼外傷について。第 28 回交通眼科学会，1986，11，東京。
- 4) 窪田靖夫，石田俊郎，鍛冶兆宏：糖尿病性網膜症により失明した症例の治療経過に関する検討。第 40 回日本臨床眼科学会，1986，11，東京。
- 5) 窪田靖夫：無色素性網膜色素変性症の臨床像。第 40 回日本臨床眼科学会，1986，11，東京。
- 6) 名古屋良輔，窪田靖夫，林 京子，落合 宏，庭山清八郎：ハイブリダイゼーションによる HSV—1 DNA の同定。第 276 回金沢眼科集談会，1986，12，金沢。
- 7) 名古屋良輔，窪田靖夫，林 京子，落合 宏，庭山清八郎：ピオチンラベル DNA プロープによる HSV—1 DNA の同定。第 8 回北陸ウィルス研究会，

1986, 11, 金沢.

8) 名古屋良輔, 窪田靖夫, 林 京子, 落合 宏, 庭山清八郎: ハイブリダイゼーションによる HSV-1 DNA の検出. 第23回眼感染症学会, 1986, 6, 東京.

9) 中村泰久, 尾崎真由美, 桶本忠司, 山下 泉: 眼窩内壁骨折の手術. 第9回日本眼科手術学会, 1986, 1, 長崎.

10) 中村泰久: 眼の周囲の形成外科. 福島県眼科医会講習会, 1986, 4, 福島.

11) 中村泰久, 山下 泉: 眼瞼下垂術後の重症角膜障害について. 第29回日本形成外科学会, 1986, 6, 札幌.

12) 中村泰久: 涙道再建術について. 独協医大眼科学会 栃木県眼科医会合同講習会, 1986, 7, 栃木.

13) 中村泰久, 山下 泉: 前頭骨 Cholesterol granuloma の1例. 第4回眼腫瘍研究会, 1986, 8, 東京.

14) 中村泰久: 眼窩腫瘍摘出術について. 第4回日本頭蓋顔面外科学会, 1986, 9, 滋賀.

15) 中村泰久, 鍛冶兆宏, 石田俊郎: 顔面骨骨折に伴う眼症状に対する二次的再建術の1経験. 第40回日本臨床眼科学会, 1986, 11, 東京.

16) 中村泰久, 尾崎真由美: 眼科壁骨折の治療法の選択基準. 眼窩疾患シンポジウム—眼科壁骨折—, 1986, 11, 富山.

17) Nakamura Y., Ishida T.: Computerized tonography in the diagnosis of the lacrimal drainage system. 4th International Symposium on the Lacrimal System, 1986 4, Milano.

18) Nakamura Y., Ozaki M., Ishida T.: Diagnosis and Treatment of Orbital Wall Fracture. 25th International Congress of Ophthalmology, 1986, 5, Roma.

19) Nakamura Y.: New instrument and technique for canalicular reconstruction. 5th Meeting of the European Society of Ophthalmic Plastic and Reconstructive Surgery, 1986, 5, Capri.

20) Nakanura Y.: Superolateral osteoplastic orbitotomy for orbital tumor surgery. The 3rd Korea—Japan Joint Meeting of Ophthalmology, 1986, 9, Korea.

21) 沼田このみ, 狩野俊哉: Double elevator palsy の1症例. 第115回富山眼科集談会, 1986, 11, 富山.

22) 開 繁義, 石田俊郎, 尾崎真由美, 中村泰久: 点眼剤による角結膜障害性の生化学的評価法. 第90

回日本眼科学会総会. 1986, 5, 四日市.

23) 石田俊郎, 開 繁義, 山田成明, 中村泰久: 静脈内に投与した薬剤の涙液への移行経路について. 第90回日本眼科学会総会, 1986, 5, 四日市.

24) 石田俊郎, 中村泰久: 眼窩内 Dermoid Cyst の1例. 第4回福井眼科集談会, 1986, 8, 福井.

25) 石田俊郎, 開 繁義, 尾崎真由美, 山田成明, 中村泰久: 涙液成分によるヒト角結膜障害の評価. 第52回日本中部眼科学会, 1986, 10, 京都.

26) 石田俊郎, 鍛冶兆宏, 白井千威子: 硝子体出血を伴った出血性網膜上皮剝離の3例. 第5回金沢医科大学眼科研究会, 1986, 11, 金沢.

27) 石田俊郎, 開 繁義, 中村泰久: ベノキシール^R 0.4%点眼液およびその配合成分の角結膜面に及ぼす影響. 第14回富山眼科集談会, 1986, 6, 富山.

28) Ishida T., Hiraki S., Nakamura Y.: The effect of topical anaesthetics to the conjunctiva. 5th International Symposium DRUG INDUCED OCULAR SIDE EFFECTS AND OCULAR TOXICOLOGY, 1986, 5.

29) 早見宏之, 石田俊郎, 中村泰久: 黄斑部低形成を合併した先天無虹彩症の1例. 第3回福井県眼科集談会, 1986, 1, 福井.

30) 山本文昭, 窪田靖夫: 小脳片葉から前庭核 group y を経て動眼神経核に至る神経経路の電気生理学的研究. 第275回金沢眼科集談会, 1986, 4, 金沢.

31) Yamamoto H.: Enhancement of evoked potential by saccadic eye movement. 25th International Congress of Ophthalmology, 1986, 5, Rome.

32) 山本文昭, 石田俊郎, 白井千威子, 山田成明: 網膜静脈閉塞症に続発した裂孔原性網膜剝離. 第15回富山眼科集談会, 1986, 11, 富山.

33) 田畑 晃: 二重睫毛の1例. 第14回富山眼科集談会, 1986, 6, 富山.

34) 田畑 晃, 山本千加子, 窪田靖夫: Hunter 症候群の1症例. 第24回北日本眼科学会, 1986, 7, 新潟.

35) 桶本忠司, 中村泰久, 岡 伸夫: 蝶形骨平面部髄膜腫の1例. 第24回北日本眼科学会, 1986, 7, 新潟.

36) 山田成明, 開 繁義, 石田俊郎, 中村泰久: 点眼した薬物の涙液内動態に関する研究. 第24回北日本眼科学会, 1986, 7, 新潟.

37) 山田成明, 鍛冶兆宏, 石田俊郎: ヤマトダニ

刺戟症の1例。第14回富山眼科集談会，1986，6，富山。

38) 山田成明，山本文昭，石田俊郎：当科における両眼性網膜剝離の統計。第15回富山眼科集談会，1986，11，富山。

39) 鍛冶兆宏，中村泰久，越野 豊：ハードコンタクトレンズによる上眼瞼異物の1例。第14回富山眼科集談会，1986，6，富山。

40) 鍛冶兆宏，石田俊郎，中村泰久：鼻性球後視神経炎のX線像。第15回富山眼科集談会，1986，11，富山。

41) 白井千威子，中村泰久：強膜軟化症の1例。第14回富山眼科集談会，1986，6，富山。

◆ その他

1) 窪田靖夫：老人性白内障に対する八味地黄丸の投与成績。基礎と臨床 20：481—483，1986。

2) 中村泰久：眼の形成外科。臨床眼科，40：1108—1109，1986。

3) 中村泰久：眼球突出をみた場合の検査の進め方。日本の眼科一生涯教育委員会編，57：1145—1146。

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	水 越 鉄 理
助 授	渡 辺 行 雄
講 師	大 橋 直 樹
講 師	小 林 英 人
助 手	麻 生 伸 夫
助 手	吉 田 行 肇
助 手	中 川 正 嗣
助 手	浅 井 正 嗣
助 手	将 積 日 出 夫
助 手	稻 葉 博 司
助 手	長 崎 孝 敏
助 手	今 村 純 一
文 部 技 官	武 田 精 一

◆ 著 書

1) 水越鉄理：めまい・平衡障害の治療と効果判定。「神経耳科学 III」，曾田豊二，鈴木淳一，時田喬編，1165—1184，金原出版，1986。

2) 水越鉄理：神経系の主要症状と病態生理。12. めまい。「臨床病態セミナー（6）神経」，荒木淑郎編，95—99，メジカルビュー社，1986。

3) Mizukoshi K., Watanabe Y. and Kato I.: 2-3, Otorhinolaryngological Findings in Minamata

Disease. In Recent Advances in Minamata Disease Studies. Methylmercury Poisoning in Minamata and Niigata, Japan. by Tsubaki T. and Takahashi H. (Ed.), 74—115, Kodansha Ltd. Tokyo, 1986.

4) 水越鉄理：めまい。「薬物療法の実際」第3版，山村雄一 他編，1010—1016，アサヒメディカル，1986。

5) 水越鉄理：椎骨脳底動脈疾患の診断と治療。「耳鼻咽喉科Q & A」，設楽哲也，飯沼寿彦編，207—209，金原出版，1986。

6) 水越鉄理：3—B. めまい・平衡障害を来す疾患，2. 中枢性めまい・平衡障害。「平衡機能検査の実際」，日本平衡神経科学会編，59—71，南山堂，1986。

7) 水越鉄理：5—H—1，視運動性眼振検査。「平衡機能検査の実際」，日本平衡神経科学会編，219—228，南山堂。

8) 渡辺行雄：7. 平衡機能検査の病歴保管とデータ検索の実際。「平衡機能検査の実際」，日本平衡神経科学会編，291—301，南山堂，1986。

9) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H. and Shojaku H.: An epidemiological study of Meniere's disease in Toyama Prefecture. In New Dimension in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery. by Myers, E. (Ed.) Vol. 2, 41—42, Elsevier Sci. Publi. B. V. (Biomed. Div.) Excerpt. Med. #680, Amsterdam, New York, Oxford, 1985.

10) Kobayashi H., Watanabe Y. and Ohashi N.: Quantitative measurement of visual vestibulo-ocular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. In New Dimension in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery. by Myers E. (Ed.) Vol. 2, 295—296, Elsevier Sci. Publi. B. V. (Biomed. Div.) Excerpt. Med. #680, Amsterdam, New York, Oxford, 1985.

11) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantification of smooth pursuit patterns (between smooth, saccadic and ataxic patterns). In New Dimension in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery. by Myers E. (Ed.) Vol. 2, 304—305, Elsevier Sci. Publi. B. V. (Biomed. Div.) Excerpt. Med. #680, Amsterdam, New York, Oxford, 1985.

12) 水越鉄理：鼻腔脳ヘルニア「講談社耳鼻咽喉科診断治療大系」野村恭也他編。第3巻40—41，講